

たからものをしようかいしよう①

めあて

しようかいするたからものをえらび、発表メモを作ろう。

◆教科書三十八、三十九ページを読みましよう。

○しようかいするたからもの「

【③と④に書くこと】

たからものの説明やないよう、思い出や使い方など友達に伝えたいことを二つえらんで書きましよう。

【⑤に書くこと】

たからものをしようかいした友達に、よびかけたいことを書きましよう。

発表メモのれい

こうもく	ないよう
たからもの	あのねちよう
理由	書くことがすきになつたから
ないよう	小学一年生の時の日記
思い出	先生の返事がうれしかった
よびかけた	今の思い出も日記にしてのこ
いこと	してほしい

⑤よびかけたいこと	④	③	②えらんだ理由	①たからもの	こうもく
					ないよう

二年生で学んだ漢字①

① 毎年 ( )

② 春 ( )

③ 風 ( )

⑤ 汽車 ( )

⑥ 明るい ( )

⑦ 晴天 ( )

⑧ 寺 ( )

⑨ 門 ( )

⑩ 同じ ( )

⑪ 太い ( )

⑫ 細い ( )

⑬ 読む ( )

⑭ 知る ( )

⑮ 話す ( )

⑯ 親友 ( )

⑰ 顔 ( )

⑱ 回る ( )

⑲ 首かざり ( )

⑳ 食べる ( )

㉑ 広場 ( )

㉒ 池 ( )

㉓ 歌う ( )

㉔ 楽しい ( )

㉕ ①～㉔の漢字を使って、春のようすを文にしましょう。

(れい)

木の下でおべんとうを食べている。



--	--	--	--

二年生で学んだ漢字②

① 羽ばたく ( )

② 鳥 ( )

③ 秋 ( )

⑤ 京都 ( )

⑥ 谷 ( )

⑦ 山里 ( )

⑧ 牛 ( )

⑨ 馬 ( )

⑩ 行く ( )

⑪ 帰る ( )

⑫ 止まる ( )

⑬ 走る ( )

⑭ 元気 ( )

⑮ 丸い ( )

⑯ 弓矢 ( )

⑰ 弱い ( )

⑱ 中心 ( )

⑲ 当たる ( )

⑳ 天才 ( )

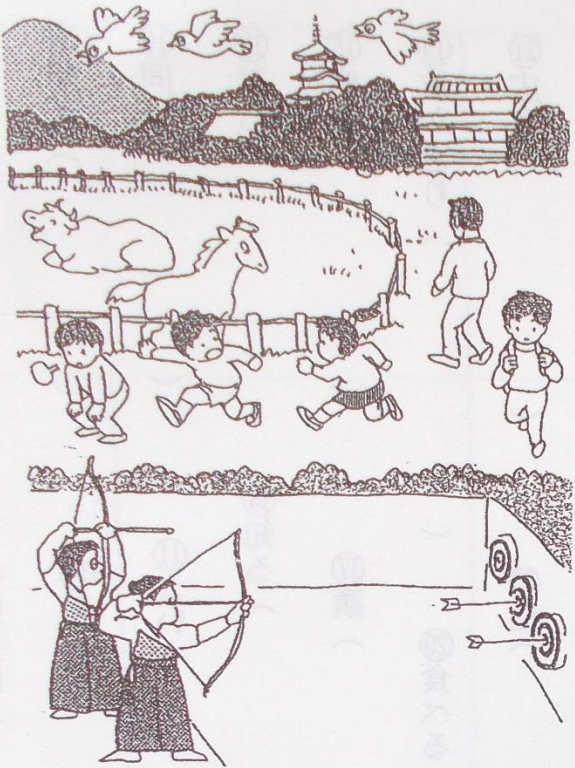
㉑ 引く ( )

㉒ 何回 ( )

㉓ ①～㉒の漢字を使って、外でやりたいことを文にしましょう。

(れい)

馬のように走りたい。



--	--	--	--

二年生で学んだ漢字①

- ① 毎年（まいとし）
- ② 春（はる）
- ③ 風（かぜ）
- ④ 汽車（きしゃ）
- ⑤ 明るい（あかるい）
- ⑥ 晴天（せいてん）
- ⑦ 寺（てら）
- ⑧ 門（もん）
- ⑨ 同じ（おなじ）
- ⑩ 太い（ふとい）
- ⑪ 細い（ほそい）
- ⑫ 読む（よむ）
- ⑬ 知る（しる）
- ⑭ 話す（はなす）
- ⑮ 親友（しんゆう）
- ⑯ 顔（かお）
- ⑰ 回る（まわる）
- ⑱ 首かざり（くびかざり）
- ⑲ 食べる（たべる）
- ⑳ 池（いけ）
- ㉑ 歌う（うたう）
- ㉒ 広場（ひろば）
- ㉓ 池（いけ）
- ㉔ 楽しい（たのしい）

①～㉔の漢字を使って、春のようすを文にしましょう。

（れい）  
木の下でおべんとうを食べている。



--	--	--	--

二年生で学んだ漢字②



--	--	--	--

①羽ばたく(はばたく)      ②鳥(とり)      ③秋(あき)

④京都(きょうと)      ⑤谷(たに)      ⑥山里(やまざと)

⑦牛(うし)      ⑧馬(うま)      ⑨行く(いく)

⑩帰る(かえる)      ⑪止まる(とまる)      ⑫走る(はしる)

⑬元気(げんき)      ⑭丸い(まるい)      ⑮弓矢(ゆみや)

⑯弱い(よわい)      ⑰中心(ちゅうしん)      ⑱当たる(あたる)

⑲天才(てんさい)      ⑳引く(ひく)      ㉑何回(なんかい)

㉒①く②の漢字を使って、外でやりたいことを文にしましょう。

(れい)  
馬のように走りたい。

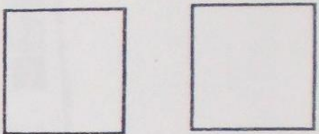
# 漢字の音と訓①

めあて

漢字の音と訓について知り、漢字を正しく使えるようになるう。

教科書七十八ページを読みましよう。

## 漢字



つたえられた当時の中国の発音に近い読み方  
かたかなでしめしている読み方

その漢字の意味に合った日本語をあてて読む読み方  
ひらがなでしめしている読み方

れんしゅうもんだい

次の漢字の読み方を教科書146ページの「漢字を学ぼう」でたしかめて、音読みはかたかなで、訓読みはひらがなで書きましよう。

- れい
- 先生に手紙を書いた。 (せん)
  - つま先でボールをける。 (さき)

- ① 一年生が、校庭で遊んでいる。 ( )
- ② ほうせんかのたねを家の庭にまく。 ( )
- ③ 多くの人命をすくった。 ( )
- ④ 人の命を大事にする。 ( )
- ⑤ 炭やきがさかなな土地。 ( )
- ⑥ 木炭で肉をやく。 ( )
- ⑦ 道を平らにする。 ( )
- ⑧ 平たいはこを重ねる。 ( )
- ⑨ おかしを平等に分ける。 ( )
- ⑩ あらそいのない平和な国。 ( )

次の漢字の音と訓を、教科書146ページの「漢字を学ぼう」でたしかめましよう。

				れい		
予	橋	物	動	返	音	訓
				ヘン		かえす、かえる

漢字の音と訓 ②

漢字の広場② 漢字の音と訓

次の言葉を、音や訓で読み、音読みはかたかなで、訓読みはひらがなで書きましょう。

- ① 草原 音 ( )
- ② 年月 訓 ( )
- ③ 春夏秋冬 音 ( )
- ④ 風車 訓 ( )

次の言葉を、音や訓で読み、音読みはかたかなで、訓読みはひらがなで書きましょう。また、どのようなちがひがあるか話し合ひましょう。

- ① 山野 ( )
- ② 物品 ( )
- ③ 風雨 ( )
- ④ 左右 ( )
- 右左 ( )



漢字の広場② 漢字の音と訓

◇同じ読み方で、意味のちがう言葉を集め、それぞれを使った文を作り、意味や使い方をくらべましょう。

《れい》カイジヨウ

【会場】 校内音楽会の会場は、たいいく館です。

【開場】 音楽会の開場は、午後一時からです。

【海上】 海上は、風もなく、なみがおだやかでした。

①あける

【 】

【 】

【 】

②ジンコウ

【 】

【 】

漢字の音と訓 ②

漢字の広場② 漢字の音と訓

① 次の言葉を、音や訓で読み、音読みはかたかなで、訓読みはひらがなで書きましょう。

① 草原 音 (ソウゲン)

訓 (くさほら)

② 年月 音 (ネンゲツ)

訓 (としつき)

③ 春夏秋冬 音 (シュンカシュウトウ)

訓 (はるなつあきふゆ)

④ 風車 音 (フウシャ)

訓 (かざぐるま)

② 次の言葉を、音や訓で読み、音読みはかたかなで、訓読みはひらがなで書きましょう。また、どのようなちがいがあるか話し合ひましょう。

① 山野 (サンヤ)

野山 (のやま)

② 物品 (ブツピン)

品物 (しなもの)

③ 風雨 (フウウ)

雨風 (あめかぜ)

④ 左右 (サユウ)

右左 (みぎひだり)